

やすらぎ通信

第 58 号（平成 27 年 9 月 1 日） 発行：大阪府立急性期・総合医療センター

長月(ながつき)



(岸和田だんじり祭:岸和田市観光振興協会より提供)

<目次>

| | |
|------------|--------|
| 喫茶室 | ・・・P.1 |
| 今月・来月の催し | ・・・P.2 |
| 管理栄養士のコーナー | ・・・P.5 |
| 今月のひまわりさん | ・・・P.6 |

| | |
|-------------|---------|
| NEWS | ・・・P.6 |
| 地域の医療機関の皆様へ | ・・・P.9 |
| 今月の風景 | ・・・P.10 |
| 編集後記 | ・・・P.10 |

9月になりました。秋の訪れです。「スポーツの秋」、「行楽の秋」、「読書の秋」と言われるように何をするにしてもいい季節です。また「実りの秋」でもあり、各地で五穀豊穡を感謝する秋祭りが行われます。祭りには「だんじり」や「お神輿」が付き物ですが、岸和田生まれの私は何と言っても「だんじり祭り」に身も心も踊らされます。

数年前に縁あってその生まれ故郷の岸和田市で勤務する機会に恵まれました。夏頃からでしょうか、夕方になるとだんじり小屋から、だんじり囃子を練習する笛や鐘、太鼓の音色が聞こえてきます。夜になると「ソーリヤ、ソーリヤ」と掛け声を掛けながら走り込みをする青年団の姿も見かけます。いよいよ祭りが近づいてくると駅前の献灯台に提灯が飾られ、まち全体で祭りを迎える機運が盛り上がってきます。

私は旧市ではなく、春木の生まれで、5歳になる前まで住んでいました。当時は私の町にはだんじりはありませんでしたが、よその町のだんじりを曳かせてもらいました。2回曳いた覚えがあるので、3歳、4歳の時だったのでしょうか、母親に買ってもらった法被を着て、太い綱を両手でしっかり持って曳いた記憶が残っています。「太い綱」と書きましたが、大人になってから改めて見てみると、これがそんなに太くはないんです。未だ幼い子どもでしたから、小さな手にはとても太い綱に感じたのでしょうか。道路もほとんど地道でしたから、土で汚れて曳き手の汗が染み付いた太い綱、という思いがずっと残っていました。

ひとしきりだんじりを曳いて休憩に入ると、子どもたちには梨が一個ずつ配られました。がぶりとかじった梨の甘酸っぱい味が今でも思い出されます。

家に帰ると祭りの日には定番の「ばら寿司（ちらし寿司）」と「わたり蟹」が用意されています。「しゃこ」もあったでしょうか。普段は質素な食卓でしたが、この二日間だけは一年で一番のご馳走で、一番の楽しい夕食でした。

少子化の影響や地域のつながりが希薄化しつつある今日、だんじりの曳き手が少なくなっていると言われていています。これは岸和田だけでなく、他の地域も同じような状況ではないでしょうか。そのような中で、何百年と続いてきたこの良き伝統・風習を守り続けてくださっている関係者の方々に感謝しつつ、今年も大いに祭りを楽しみたいと思います。



今月・来月の催し

【すこやかセミナー「ロコモ（運動器症候群）って何？～膝・股関節の話を中心に～】

日 時 9月10日（木） 午後2時～3時
場 所 本館3階 講堂
講 師 整形外科診療主任 小柳淳一郎
参加費 無料

【府民公開講座「骨粗鬆治療の最前線～骨折連鎖を防ぎ健康寿命を延ばしましょう～】

日 時 9月12日（土） 午後1時30分～3時（午後1時開場）
場 所 本館3階 講堂
講 師 整形外科副部長 藤原達司
参加費 無料

【(新) 森ノ宮医療大学連携 平成27年度 第2回市民公開講座 「胃がん」】

日 時 9月13日（日） 午後1時30分～3時30分（午後1時 受付開始）
場 所 森ノ宮医療大学（大阪市住之江区南港1-26-16、大阪市営地下鉄中央線「コスモスクエア」駅2番出口より徒歩1分）
内 容 基調講演「胃がん手術周術期から社会復帰へのケア—最近の話題—」（副院長 岩瀬和裕）
講演1「胃がんの手術と看護」（森ノ宮医療大学保健医療学部 看護学科教授 吉村弥須子 氏）
講演2「消化器がん 予防と運動」（森ノ宮医療大学保健医療学部 理学療法学科准教授 三木屋良輔 氏）
講演3「がん治療と鍼治療」（森ノ宮医療大学保健医療学部 鍼灸学科教授 仲西宏元 氏）
参加費 無料

【相愛大学連携 第51回外来糖尿病教室

知って得する！ 糖尿病との付き合い方

日 時 9月16日（水） 午後2時～3時
場 所 本館1階 アトリウム
内 容 糖尿病のえのき！？（糖尿病内分泌内科医師 渡邊裕堯）
体重調整のコツをつかもう（糖尿病看護認定看護師 後藤博美）
どんな油がいいの？（相愛大学准教授 竹山育子 氏）
参加費 無料

【第33回万代・夢寄席「桂かい枝独演会」】

日 時 9月16日(水) 午後2時～3時
場 所 本館3階 講堂
出 演 桂 かい枝 氏
入場料 無料



【第8回 脳卒中教室 ～脳卒中は予防できる～】

日 時 9月17日(木) 午後2時～4時
場 所 本館3階 講堂
内 容 脳梗塞について(神経内科医師 大菌達彦)
脳梗塞の治療(脳神経外科医長 乾 登史孝)
日常生活の注意点について(8階東病棟看護師 辻 夏希)
リハビリテーションについて(理学療法士 布谷麻衣子ほか)
栄養について(栄養管理室 管理栄養士 谷 菜穂子)
参加費 無料

【すこやかセミナー「ここまできた！超音波検査の最前線」】

日 時 9月25日(金) 午前11時～12時
場 所 本館3階 講堂
講 師 臨床検査科 臨床検査技師 今里明美
参加費 無料

【第17回病院ギャラリー企画展 『グラフィックデザイナー 田中一光ポスター展』】

田中一光は、1930年奈良市に生まれ、幼少期から書や茶道といった日本の伝統芸術に触れ感性を培い、無印良品のアートディレクションなど、企業のシンボルマークや広告デザインを手がけ、日本のデザイン界に多大な影響を与えた人物です。

今回の展示は『グラフィックデザイナー田中一光ポスター展』と題し、各時代の色彩豊かで、すぐれたデザインのポスター27作品を展示します。

(本企画展は、大阪府江之子島文化芸術創造センターのご協力を得て実施します。)

開催期間 8月24日(月)～11月27日(金)まで

展示場所 本館2階 病院ギャラリー

展示作品 ポスター 27作品

※ 9月16日(水)午後1時30分から大阪府府民文化部都市魅力創造局文化・スポーツ課文化創造グループ研究員中塚宏行氏による作品説明会(約20分)を病院ギャラリーで開催いたしますのでご参加ください。

【(予告) すこやかセミナー「知っ得、納得！！心筋梗塞とその予防」】

日 時 10月8日(木) 午後2時～3時
場 所 本館3階 講堂
講 師 看護部 心臓血管センター看護師
参加費 無料

【(予告) 骨髄バンク支援

「愛のかけはし」メンバーによる<秋のシャンソンコンサート>】

日 時 10月14日(水) 午後2時～3時
場 所 本館3階 講堂
出 演 未定
主 催 医療サービス改善委員会

【(予告) 相愛大学連携 第52回外来糖尿病教室

知って得する！ 糖尿病との付き合い方】

日 時 10月21日(水) 午後2時～3時
場 所 本館1階 アトリウム
内 容 24時間あなたの血糖値の推移がわかります
(糖尿病内分泌内科主任部長 馬屋原 豊)
低血糖について(薬局 薬剤師 的場美香)
コンビニ活用術(栄養管理室 管理栄養士 笠井香織)
参加費 無料

【(予告) 第42回相愛大学連携コンサート「ピアノトリオ」】

日 時 10月22日(木) 午後2時～3時
場 所 本館3階 講堂
出 演 西村奈菜氏、浦田 彩氏、中島紗理氏
入場料 無料

【(予告) すこやかセミナー「上手に食べて元気に長生き！」】

日 時 10月23日(金) 午前11時～12時
場 所 本館3階 講堂
講 師 栄養管理室 管理栄養士 山根泰子
参加費 無料



【(予告・募集) 作品展(コスモス会の開催と作品の募集について)】

今年も当センターとコスモス会の共催による作品展を10月26日(月)から28日

(水)の3日間、本館3階講堂で開催する予定です。つきましては、出展作品を下記のとおり募集いたしますので、皆さん奮ってご応募ください。

| | |
|-------|--|
| 応募資格 | 患者さんとその家族及び病院関係者 |
| 応募方法 | 出展ご希望の方は、当センター総務グループへお問い合わせください。(連絡先：06-6692-1201 内線 2313) |
| 応募作品例 | 絵画、写真、書道、手芸ほか |
| 作品受付日 | 10月26日(月)午前9時～10時 |
| 作品返却日 | 10月28日(水)午後4時～5時 |

管理栄養士のコーナー



～ちょっとおいしい話～

いつもは中華料理の脇役のチンゲン菜ですが、今回は秋の旬の野菜の主役としてご紹介いたします。

| 《材料》 | (1人分) | (2人分) |
|--------|-----------|-------------|
| スパゲティ | 80 g | 160 g |
| チンゲン菜 | 80 g | 160 g |
| ベーコン | 10 g | 20 g |
| みりん | 大さじ 2/3 杯 | 大さじ 1+1/3 杯 |
| 濃口しょうゆ | 大さじ 2/3 杯 | 大さじ 1+1/3 杯 |
| 塩 | 少々 | ひとつまみ |
| ごま | 大さじ 1/2 杯 | 大さじ 1 杯 |

(1人前) エネルギー：406kcal たんぱく質：13.7g 脂質：7.4g 食塩相当量：2.5g

- ① チンゲン菜の茎の部分は3cm長さに、葉の部分は5cm長さに切る。
- ② ベーコンは2cm幅に切る。
- ③ ごまはそのままでもよいが、すり鉢で荒くすったほうが、香りがよく出る。すり鉢がない場合は、まな板にペーパーを敷き、包丁でたたいてもよい。
- ④ スパゲティは、お好みの堅さにゆでる。
- ⑤ スパゲティをゆでている間に、熱したフライパンにベーコンを入れ炒める。ベーコンをカリカリに炒めるには、中火で焦がさないように気をつける。炒まったら、火を止めて一度、器にあげる。
- ⑥ ベーコンを炒めていたフライパンに再び火をつけて、チンゲン菜を入れて炒める。
- ⑦ チンゲン菜がしなっとなったら、ゆであがったスパゲティ、炒めたベーコン、みりん、しょうゆを合わせる。皿に盛りつけ、すりごまをふりかける。ごまの代わりに、おろししょうが、刻んだ青じそなどの香味野菜でもさっぱりと食べられます。

栄養管理室 管理栄養士 伊藤 晶

今月のひまわりさん

各種窓口でセンターご利用のお手伝いをさせていただいている
医事事務委託会社ソラストの窓口担当を紹介させていただくコーナーです。

【(新) 入院会計 大山さんの巻】

私は入院会計で約7年間業務をしています。

主な業務内容は、入院費の計算、請求書の作成、レセプト点検と作成です。作成したレセプトを元に医療費の請求を行う業務は、病院の収入に直結した重要な業務であり、同時にやりがいのある業務です。

普段、患者様と直接接することが少ないので、請求書についての説明などでお部屋にお伺いした時などは、表情や言葉遣いなど接遇面での不安がありました。

それで今回、接遇マナーと一般医療事務知識のスキルアップを考えて『ホスピタルコンシェルジュ』という資格試験を受験しました。少しでも患者様との会話の中で役立てたいと思います。

初めてこの仕事に就いた時から、多くの先輩方にご指導して頂き今に至っています。今後は学んだ経験を生かし、私が新人に教えていく番だと考えています。

これからも、この仕事をずっと続けて行きたいと思います。

NEWS

【「医療相談」コールセンターのご利用を ー地域医療連携センターー】

患者さんやご家族などからの医療や病院利用に関するご相談に、専門の看護師が電話で応じさせていただく「医療相談」コールセンターを開設運用しております。是非お気軽にご利用ください。

電話番号は 06-6692-2800 (専用電話回線)

06-6692-2801 (専用電話回線)

相談日時 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

(年末年始、土・日・祝日除く)

相談対象 医療相談を希望されるご本人若しくはご家族等

相談員 看護師

【診察予約変更センター 9診療科において診察の予約日・時間の変更を電話で受け付けています！】

当センターでは、下記の9診療科を対象に、電話で診察時間の予約の変更ができるよう「診察予約変更センター」を設置しています。是非、積極的にご利用ください。

なお、このサービスは初診に関しては行っておりませんので、ご注意くださいようお願いいたします。

(電話番号) 06-6692-1201 (代表) にダイヤルして
「予約変更センター」と言ってください。

(受付時間) 午後3時～午後5時(平日のみ)

(対象診療科) 呼吸器内科 消化器内科 糖尿病内分泌内科
皮膚科 形成外科 腎臓・高血圧内科
神経内科 脳神経外科 耳鼻咽喉・頭頸部外科

【入院治療費や外来での検査費用の概算を予めお知らせするサービスをしています】

当センターにおきましては、入院患者さんへのサポートを総合的・集約的に行う入院センター（やすらぎセンター）におきまして、ご入院申し込み時に予め標準的な治療を行った場合の概算費用をお知らせするサービスを行っています。

また、CT、MRI、RI、エコー検査など検査費用の概算を医療・福祉相談コーナーなどでお知らせするサービスも行っていきます。

【「急性期・総合医療センターの最新治療がわかる本」が出版中です！】

府民の皆さま向けに、当センターで行われている最新治療をご紹介する書籍を出版しました。当センターの医師や看護師らが、分かりやすく、簡潔に、しかも必要な情報はきちんと把握できるように執筆しています。

この本は、いわゆる医学書や診療ガイドブックではなく、健康なときから病気にかかったときまで、府民の皆さまがよりよい治療を選択する際に役立つ健康情報を掲載しています。病気を理解し、よりよい治療を選択するための案内書としてご活用いただければ幸いです。



価格：1,998円（消費税8%込）

◇当センター内のローソンや近隣の一般書店等で販売します。

◇当センター内のローソンでは、下記の方を対象に割引販売を実施します。

- ・当センターの診察券をレジで提示いただいた方
- ・当センターで開催されるイベント参加者にお配りする書籍の案内リーフ（割引券付き）をレジで提示いただいた方

割引価格：1,700円（消費税8%込）

【Facebook ページ開設のお知らせ】

当センターでは、公式 Facebook ページを開設しております。Facebook のアカウントをお持ちでない方でも、ご覧いただけます。

(URL) <https://www.facebook.com/osakageneralmedicalcenter>

※スマートフォンでご覧になる場合は、右の QR コードをご利用ください。



【医療費の支払いはキャッシュカードでできます！】

当センターの医療費自動精算機は、デビットカード対応となっておりますので、ほとんどの金融機関のキャッシュカードでお支払いができます。

これらの金融機関は J-Debit に加盟していますので、キャッシュカードに自動的にデビット機能が付与されているからです。(ただし、キャッシュカードでお支払いいただいた場合は即座に口座から引き落とされることとなるため、口座に引き落とし金額以上の残高が必要ですのでご注意ください。また、デビット機能が付与されていないカードもありますので、ご注意ください。)

このため、医療費の支払いのための現金を持たなくても、キャッシュカードさえあればお支払いが可能です。

また、引き落としの手数料は不要ですので大変便利です。是非ご利用ください。なお、合わせて一般のクレジットカードでのお支払いもできます。

【診察予約時間の表示変更について】

平成 26 年 12 月以降の予約より、診察予約時間の表示を変更いたしました。これまで、患者の皆様には 30 分単位の予約時間帯を案内していましたが、平成 26 年 12 月以降の予約は、予約時刻を案内しております。予約時刻に合わせてご来院くださいますようお願いいたします。

※ 診察は通常予約時刻順に行います。

当日の診療状況によりお待ちいただくことがあります。

再来受付機による受付番号は、診察順には関係ありませんのでご注意ください。

【やすらぎ通信はメルマガで！】

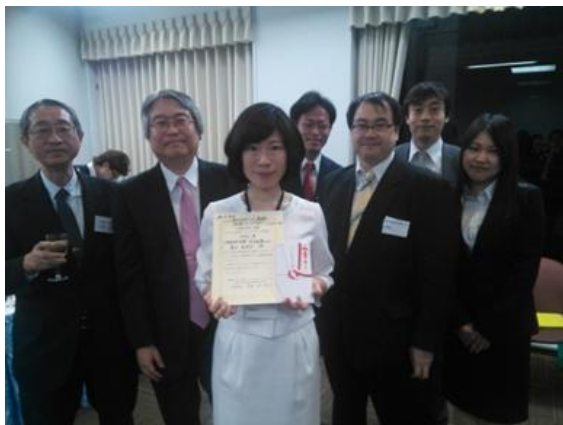
「やすらぎ通信」は、メルマガでも配信しております。ご希望の方は、当センターホームページの「メールマガジン申込」からアドレスを登録していただきますようお願いいたします。なお、ホームページの検索は、「大阪府立急性期・総合医療センター」にて可能です。

【(新) 糖尿病内分泌内科からのお知らせ】

～診療科名称が『糖尿病代謝内科』から『糖尿病内分泌内科』に変わりました。～

平成 27 年 5 月末より、当科の診療科名称が『糖尿病代謝内科』から『糖尿病内分泌内科』に変更されました。名称変更の第 1 の目的は、現状に即した診療科名称にすることです。当科では糖尿病患者さんだけでなく特に甲状腺疾患を中心とした内分泌疾患患者さんを多数診療しております。内分泌疾患の紹介患者さんで当科初診時に「私は糖尿病なのではないでしょうか？」と質問される患者さんも多くおられ、そのような誤解を生まないようにすることが一つの目的です。

第 2 の目的は、地域中核病院の役割として、内分泌疾患全般についても積極的に診療させていただこうということです。当科では、特に若手の医師が増えましたので、手間のかかる内分泌疾患の負荷試験についても十分対応出来る体制となってきました。若手医師の育成という面からも積極的に内分泌疾患診療を行っていかうと考えております。視床下部・下垂体疾患、副甲状腺疾患、副腎疾患などが疑われる症例がございましたら、当科へ積極的にご紹介いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



平成 25 年度大阪大学内分泌代謝カンファレンス (OEMCC) にて清水彩洋子医師 (現阪大病院) が OEMCC 大賞を受賞しました。



平成 26 年度 OEMCC にて渡邊裕堯医師がベストプレゼンター賞を受賞しました。

糖尿病内分泌内科主任部長 馬屋原 豊

今月の風景



(経営企画グループ 西上香代撮影「中山道 妻籠宿」(撮影地：長野県木曾郡南木曾町))

編集後記

9月といえば十五夜。学生時代に京都の嵐山まで行って、天体望遠鏡で月を観測したことが懐かしい思い出です。そういえば、関西に来て驚いたことが、館でくるまれたお月見団子。白くて丸い白玉のお月見団子しか知らなかったのでびっくりしました。月の模様の見え方は日本と外国で異なることは有名ですが、同じ日本国内でお月見団子が地域によって違うことに面白さを感じたのを覚えています。

<お願い>

読者の皆様からも、今後の表紙と「今月の風景」を飾る写真の投稿をお待ちしております。ご投稿いただける方は下記宛先までお送りください。

【宛先】 kyuseisogo@opho.jp

【注意事項】

- ・ 投稿写真はご自分で撮影したオリジナルの作品に限ります。
- ・ タイトル、撮影日時、場所についてコメントをメール本文に記載ください。
- ・ 作品は著作権、肖像権を侵害するおそれのないものに限ります。

当センターは、当センターが「希望の医療空間」「よろこびの医療空間」「やすらぎの医療空間」となるよう日々努力しています。